

新たに勝山市文化財に指定 (2月7日付)

「村岡山城跡」と「松平光長寄進状、松平直基安堵状、松平成政安堵状」

◆記念展示のご案内
 とき▼3月30日(出まで)
 ところ▼勝山公民館展示スペース
 関史蹟整備課(教育会館2階)
 ☎88・8113

江戸時代初期(17世紀前半)に福井藩主であった松平忠直の子や弟が発給した文書です。1615年に再建された神明社別当寺の興福寺に寺地を寄進、安堵したもので、現在は国泰寺に所蔵されています。
 松平氏が勝山を支配した時代の史料としてきわめて貴重です。



松平光長寄進状

松平光長寄進状、松平直基安堵状、松平成政安堵状

1574年に平泉寺と戦ったため一向一揆勢が立てこもった山城です。一向一揆勢の勝利を祝って「勝ち山」とも呼ばれ、現在の勝山という地名の起りとなりました。
 その後、柴田氏により改修されたとみられる主郭や虎口、畝状空堀群など良好な遺構は県内でも屈指のもので、



村岡山城跡

村岡山城跡

小浜の子どもたちが雪を体験

■2月16・17日 スキージャム勝山、北谷町小原



小浜市と勝山市の子ども会が2日間、冬の交流会を行いました。初日はスキーを楽しんだ子どもたちは、2日目に小原を訪れ、かんじき体験や雪遊びでお互いのきずなを深めました。

大地の恵み「雪」を使って天然冷蔵庫

■2月26日 平泉寺町岡横江



来年度の活用に向けて、雪室への雪入れが行われました。今年は雪不足のため、平泉寺方面から除雪されていない雪を運搬。今後は、雪室商品のブランド化を推進し、活動を強化していきます。

HOT話題

今年の吉兆をうかがう

■2月11日 滝波町ふれあい会館



■2月16日 谷区教会



それぞれが市指定無形文化財に指定されている滝波町と北谷町谷のお面さんが今年も披露されました。笑って見るとよい一年になるというお面さん。今年はいつもよりいい笑顔に見えたそうです。

勝山高校コラム「ひびきは空に～まこと真・誠・信～」

勝高HP



卒業式

3月1日(金)第71回卒業証書授与式が挙行され、3年生136名が新たな進路への希望を胸に3年間親しんだ学び舎から旅立ちました。



進路状況

国公立大学の個別試験は3月12日(火)に全日程を終えました。合格発表は3月下旬まで続きます。
 ☆合格状況(3月10日現在)
 国公立大学24名(福井大11名、福井県立大8名、京都大1名、金沢大1名、滋賀大1名、静岡大1名、三重大1名)
 私立大学99名(福井工業大、福井医療大、仁愛大、金沢工業大、立命館大、関西大、関西学院大、京都産業大、近畿大、龍谷大、京都女子大、同志社女子大、中京大、名城大、東洋大など)
 私立短期大学9名、専門・各種学校32名、自衛隊1名

部活動でも大活躍!

【男女バドミントン部】1月18日～20日、県営体育館にて、全国高等学校選抜バドミントン大会北信越予選会が開催され、男女バドミントン部が男女学校対抗、男女シングルス、女子ダブルスの計5種目で全国大会の切符を掴みました。なお、全国高等学校選抜バドミントン大会は、3月23日～27日に茨城県ひたちなか市にて開催されます。
 【スキー部】1月28日～29日、富山県南砺市にて、中部日本スキー大会が開催され、榎家駿之介君が男子10kmクラシカルとフリーでともに3位、山内美佳さんが女子5kmフリーで優勝、クラシカルで3位と好成績を収めました。この2人と北山俊介君の3人は、福井県代表としてインターハイ、国体、全国高等学校選抜スキー大会にも出場しました。
 【放送部】2月9日～10日、三国観光ホテルにて、第15回北信越高等学校選抜放送大会福井大会が開催され、中村海里君が、朗読部門で優秀賞を受賞しました。



恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク ジオパーク専門員 町 澄秋

2月のはじめに、ヨーロッパからナタリー・カイラ博士(フランスのモンブラン・サヴォア大学)とハイジ・メーゲル教授(ドイツのロッテンブルグ応用森林科学大学)の2人が恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークと白山手取川ジオパークの視察に来られました。
 お二人は、これまで恐竜や恐竜化石産地を活用したジオパークとジオツーリズムの構築について、世界各地の類似のジオパークに赴き、現地視察を重ねており、今回の日本の代表例として恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークや恐竜博物館の取り組み、日本のジオパークのネットワーク活動についての調査が目的でした。
 1日目は、白山手取川ジオパークの手取峡谷(白山市吉野)、桑島化石壁(白山市桑島)、化石の保管施設および白峰のまちなかを見て回りました。桑島化石壁は、勝山の恐竜化石発掘現場(杉山)と同じ地層、手取層群が露出している崖で、国の天然記念物にも指定されています。これまでに、新種の恐竜化石、アルパロフオサウルス(Alaophosaurus yanagichiroi)をはじめとする恐竜や爬虫類、魚類、哺乳類など多くの化石が発見されています。
 翌日からは、恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークの県立恐竜博物館、拠点施設であるジオタウミナルおよびはたや記念館ゆめおれ勝山を視察されました。恐竜化石発掘

—第35回— ジオパークを介した世界との交流



県立恐竜博物館前で集合写真
 左から白山市のヘリオットさん・大塚さん・日比野さん、メーゲル教授、カイラ博士、県立恐竜博物館の園田研究員

現場の見学は、困難な時期だったので、恐竜博物館内で取り組みの説明や館内見学が大部分でしたが、充実した館内展示に加え、年間の来場者数、発掘体験を兼ねたツアーの実施状況などについて意見交換を行うことができました。最後に訪れたゆめおれ勝山について、勝山の地理的な位置や地形を活かした水力発電を背景に栄えた繊維産業を知る上でとてもいい施設だとおっしゃっていたことが印象的でした。
 世界との交流を通して、海外からの観点・視点で、この勝山を見てもらうことで、そこに暮らす自分たちが気づきにくい、すごいところを再認識できるように思います。これからもこういった機会があった際には、勝山に暮らす多くの人と交流を持てるような場も作っていかねばと思います。

